

あおぞら財団 年次報告書 Vol.3

1999.4~2000.3

『あおぞら財団年次報告書Vol.3/1999.4~2000.3』2000年7月

発行 財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）

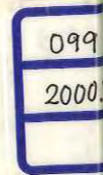
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1三洋ビル4階

TEL 06-6475-8885/ FAX 06-6478-5885/Eメール=webmaster@aozora.or.jp

ホームページ=http://www.aozora.or.jp/

印刷・製本 あゆみコーポレーション

乱丁・落丁はお取り換えます。
無断転・掲載を禁じます。



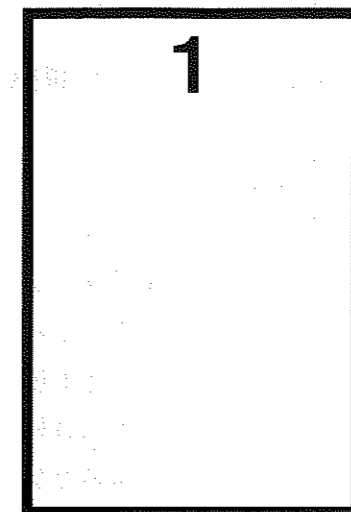
2000年7月



財団法人 公害地域再生センター（あおぞら財団）

もくじ

1.活動の記録	1
2.子どもマップ	17
3.財政報告	27
4.インターンの目	31
5.使う・見る	37



活動の記録

1999年4月から2000年3月までの活動を「地域づくり」「公害経験」「環境学習・環境保健」「広報・活動交流」「財政と組織」の5つにわけてまとめました。

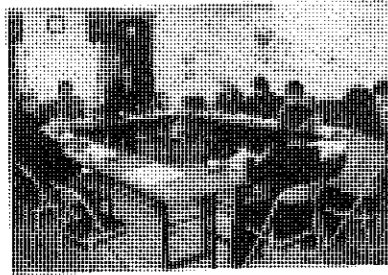
地域づくり

西淀川地域再生マスタープランづくり推進事業

「あおぞら財団の提案」(第1次)づくり

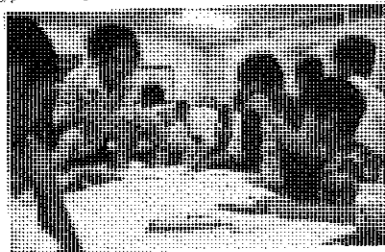
財団設立以来、フィールドミュージアム活動(環境事業団助成)として進めてきた各種の地域調査活動で得た知見を整理しながら、三村理事の指導の下、事務局で原案づくりを進め、計2回のアドバイザー委員会(座長:三村理事、専門家と地域関係者で構成)で検討し、成案を得て、『手渡そう川と島とみどりのまち~西淀川地域の環境再生をめざすあおぞら財団の提案~』を刊行した。

これらの成果は、住工混在地域における良好な大気生活環境の形成に関わる調査(環境庁請負)のモデルプランとしても活用した。



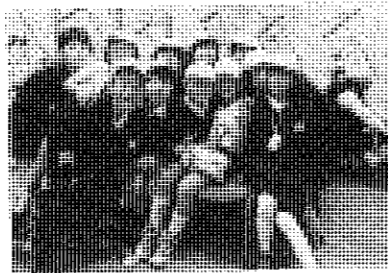
水辺再生プラン・ワークショップ

昨年度の提言コンペに続き、コンペ参加者や住民、こどもエコクラブなどの協力を得て、さらに具体的な提言づくりのワークショップを開催した。その成果は「提案」(第1次)の中で紹介した。



こども環境マップコンクール

「あおぞら財団の提案」(第1次)をともに進めていく次世代を育てようと、身のまわり環境マップコンクールを開催した。西淀川区内小学校の校長会の場で正式に協力要請を行い、姫里小学校の協力を得たほか、区内の学童保育所も参加した。それら作品の発表会を財団の地域資料室で開催し(1/17~29)、関係者や保護者などが来館した。



これまでのたんけん隊活動や環境マップづくりの蓄積を生かして、環境診断マップづくりのマニュアル本を作成する業務(環境庁請負)として、島津康男氏(環境技術研究協会会長)らの編集委員の協力により、『つくってみよう身のまわりの環境診断マップ』を刊行した。

原風景・原体験調査に関する出版活動

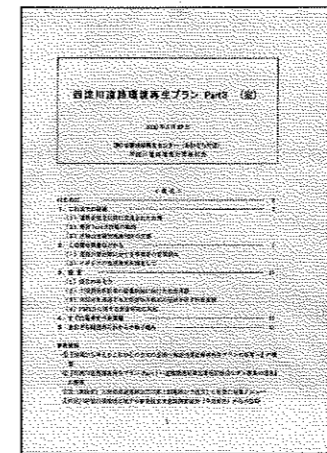
一昨年度実施した原風景・原体験調査に関して、トヨタ財団の助成を得て、(株)学芸出版社から『都市に自然をとりもどす~市民参加ですすめる環境再生のまちづくり~』を出版した。



西淀川地域道路環境再生事業

道路環境再生提言づくり支援

西淀川公害患者と家族の会の委託で設置した西淀川道路環境対策検討会で検討した『西淀川道路環境再生プラン part 2』に基づき、同会(原告団)の建設省・阪神高速道路公団との折衝を政策面から日常的に支援した。



関連調査として、労働党政権による新交通政策や道路環境改善のNPO活動で注目され

ているイギリスに視察調査団を派遣した(環境調査センター助成)。その報告会には、建設省近畿地建、大阪府、大阪市の関係者も参加し、議論を交わした(11/25)。また、区内におけるTDM(交通需要マネジメント)を考へる上で重要な社会基盤である大野川緑陰道路の評価をCVM(仮想市場法)により試みた(大阪大学新田研究室の協力)。

これらの調査結果などを踏まえて、『西淀川道路環境再生プラン part 3』をまとめ、阪神地域における大型車交通に関する社会実験の実施を提唱した。

西淀川地域沿道環境対策調査

こうした調査活動と連動させながら、環境庁請負調査として、西淀川地域の住民や事業所の沿道環境や対策に対する意識調査、沿道法を活用した沿道整備の事例調査(東京都及び三重県四日市市)などを実施した。

わたしのお気に入り



アフター5では、騒音の発生源となって、道行く人たちに迷惑をかけています。

(傘木宏夫)

公害経験

公害問題資料記録・保存事業

4月に発足した「公害問題資料研究会」(座長: 芝村篤樹・桃山学院大学教授)は隔月に研究会を開催するなど活発に活動し、被害者資料の公開基準や引き受け要綱の検討など、民間資料保存の分野では未開拓な分野でのルールづくりなどを検討した。また、財団が入居する三洋ビル6階の倉庫を新たに借りて、西淀川公害訴訟資料や大阪から公害をなくす

会資料などを引き受けるなど、資料センターとしての機能整備も進めた。これらの取り組みは、公害健康被害補償予防協会の委託調査として取り組まれた。



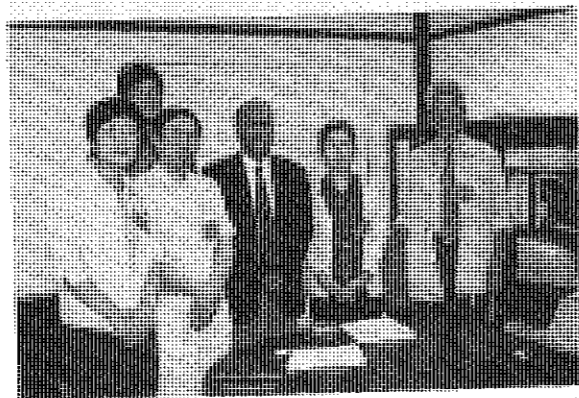
公害経験に関する情報発信・交流事業

昨年度に引き続き、全国公害患者の会連合会の事業に協力して、フィリピンの環境NGOとの交流を進めた。9月に交流団を派遣(地球環境基金助成)したのに続いて、2月には日本に招聘して、倉敷市や東京都などで日本の公害対策について理解を深めていただいた。

また、韓国において公害訴訟を準備している弁護士グループの招待を受けて、森脇君雄理事長が訪韓し、日本の経験を語り、交流した。

同様に、今年度もJICAが主催する研修プログラムを受入れた。その際、大阪市からも産業公害激甚期の公害対策についても話題

提供を受けるなど、パートナーシップ型の運営に努めた。また、これらに際しては、昨年度作成した海外向け冊子等を活用した。



環境学習・環境保健

地域づくりのための環境学習推進事業

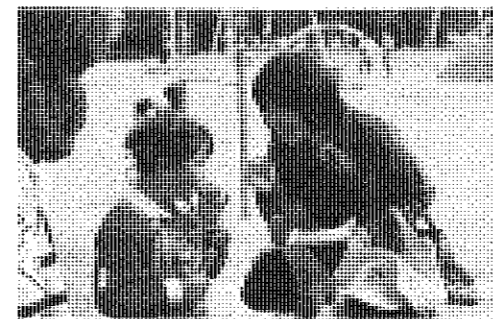
総合環境学習ゾーン・モデル事業

財団は、環境庁が指定した「総合環境学習ゾーン」の拠点施設のひとつとなったことから、京滋・阪神ゾーン(京都・滋賀・大阪・兵庫の2府2県)の各公的環境施設と連携した取組みが図られ、検討会に担当者(片岡)を派遣した。



西淀自然文化協会・自然文化大学

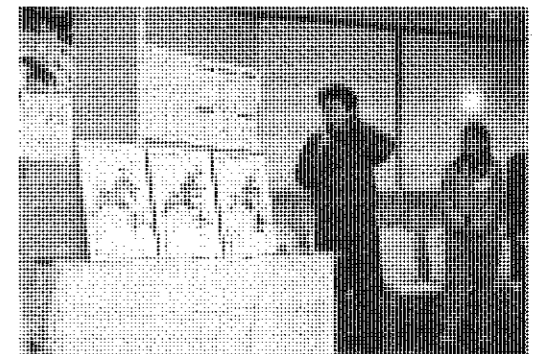
昨年度開校した「西淀自然文化大学」(地球環境基金助成)は、第2期受講生(23人)も「どんぐりフェスタ」(10/23)を成功させ(区内の子どもら300人余が参加)、こうした活動を通して「西淀自然文化協会」にほとんどの受講生が入会した。同協会では、西淀川区役所の受託業務(大野川緑道の樹木調査・名札つけ業務)を実施し、これも多くの参加者を得て成功させることができた。



地球環境市民大学校西日本校の運営

今年度は、大阪での環境問題講座と岡山での国際協力講座の2つを扱った(環境事業団受託)。大阪での講座(10/4~11/15)は、募集期間を長く設定し、宮本理事をはじめ第一線で活躍する講師陣を配置したこともあって、定員を上回る受講者を得て、受講生にも概ね好評であった。

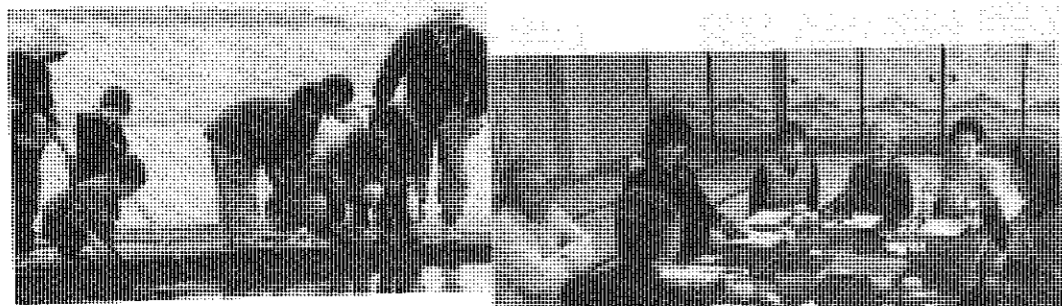
岡山での国際協力講座は、倉敷公害訴訟の和解金を基金に設立される水島地域環境再生財団に外注した。同財団準備会では、現地の環境NGOとともに実行委員会を組織して準備を進め、2月10日~11日に岡山市内で開催し、目標を大きく上回る87名が受講した。公害経験事業で招聘したフィリピンの環境NGO代表2名もこれに参加し、途上国の環境問題を報告し、交流した。



子どもエコクラブの運営

子どもエコクラブによる矢倉海岸での定点観察活動を隔月に取り組んだ。また、同海岸をテーマにした水辺再生に向けたワークショップの開催にも、子どもの視点から協力して

もらった。



公害病患者等のための環境保健推進事業

園芸リハビリテーションに関する実践実験プログラム（環境庁受託調査）は、小児対象を引き続き府立羽曳野病院で、成人対象は4月より西淀川区福町にある児童遊園を地元町会より借りて、地元開業医らの協力の下で実施した。

後者は、「ふくの庭」活動として、公害病患者によるコミュニティー・ガーデンづくりとして、地域関係者や多数のボラン



ティアの協力を得ながら、地域における世代間交流などを心がけて進めている。これら地域活動に関して、運営経費（トタ財団）や講師謝金（大阪コミュニティ財団）、備品（大阪ガスグループ福祉財団）についてそれぞれ企業財団の協力を得た。

「ふくの庭」活動は、今年度の目玉事業でもあったため、環境庁大気保全局長をはじめ各方面からの視察、マスコミの取材が相次いだ。

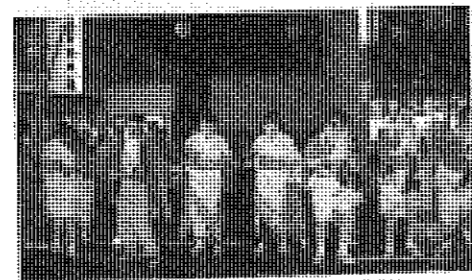
また、西淀川公害患者と家族の会転地療養事業（11/5-6）や尼崎公害患者・家族の会転地療養事業（10/11-12他）に財団職員が参加・協力した。

わたしのお気に入り

去年の夏、小さな田舎のお祭りに参加した。場所は北海道寿都町。日本海に面する人口4,000人ほどの漁村である。手作りの山車を引きながら、子どもも大人も踊りまくっていた。その輪の中に入り込んで見よう見真似で踊っていると、近所の人々が家の中に招いてくれた。そこには新鮮な海の幸がどっさり。食べ始めて10分もしないうちに

再び外に呼び戻され、また踊り始めた。寿都町民の熱気と山盛りの魚介に圧倒された幸せな夜だった。

（三宅雅美）



広報・活動交流

研究活動交流事業

公害地域再生政策の形成に向けて

2001年の省庁再編を念頭に、環境再生が、新しい環境省の政策の柱となるよう働きかける活動の一環として、学識経験者と環境庁プロパーで構成する政策研究会を組織し、10月と12月に開催した。

また、G8環境大臣会合（2000.4 滋賀県大津市）に向けて、「21世紀を環境再生の時代に」を共通テーマにした環境NGOの共同行動をよびかけ、滋賀環境生活協同組合、沖縄環境ネットワーク、気候ネットワーク、全国公害被害者総行動実行委員会の4団体とともにアピールを発表し、賛同者を募るなどの活動を展開し、G8各国の環境政策担当者との懇談会を実現させることができた。

他地域の再生活動支援

水島地域環境再生財団（みずしま財団）の



設立に向けて、岡山県との調整等、実務的な協力を行った。同財団は3月14日、正式に設立許可を得た。また、地球環境市民大学校（国際協力講座）や環境庁受託業務（地球環境部）の実行についても連携して進めた。

また、引き続き、尼崎公害患者・家族の会の要請に応じて、尼崎南部再生に向けた活動に協力した。

広報活動

「Libella」の発行を継続し、7月には年次報告書（Vol. 2）を刊行した。財団の活動紹介パンフレットも作成し、機会あるごとに活用している。ホームページのメンテナンスもボランティアの協力により着実に進めている。

年末にはデザインを一新（イオングループ環境財団助成）した。全国各地の小中学校などから問い合わせが寄せられた。

渉外活動

公的会合などへの出席

環境基本計画の見直しに際して中央環境審議会が実施した各団体との意見交換会(10/12)に財団を代表して、傘木研究主任が意見を述べた(概要はLibella No43 12-1月合併号に掲載)。また、環境庁主催の「第5次総量規制に関する意見交換会」(12/16)、兵庫県主催の「瀬戸内海沿岸域環境保全創造方針に関する意見交換会」(2/23)においても傘木研究主任が意見を発表した。

その他、傘木研究主任は、建設省委託の「サステイナブル・コミュニティ研究会」(近畿地方建設局企画課)のコーディネーター委員、環境庁委託の「瀬戸内海沿岸域環境保全創造計画検討委員会」(瀬戸内海環境保全室)や「西淀川区自動車排ガス対策検討調査研究会(大阪市)」(自動車環境対策第1課)の検討委員を務めた。

講師活動など

全国消費者団体連合会、大阪弁護士会環境公害委員会をはじめ、各地の市民団体・住民団体が主催する環境や道路公害問題の学習会などに講師を派遣した。また、西淀川区内の姫里小学校の環境教育カリキュラム(11/17)に講師を派遣した。傘木研究主任は、昨年度に引き続き、大阪市立大学の非常勤講師(後期)を勤めた。

わたしのお気に入り



昨年見た一押しの映画。

そもそも「運動靴」と「赤い金魚」がどういう関係があるねん。イラン映画ってあやしそう〜。そんな余計な理屈や偏見は、映画館を出るとき吹っ飛んでいた！
しみじみとした余韻が今でも残っています。(片岡法子)



財政と組織

財務

財団設立後初めて、環境庁(会計課)より受託業務(1998年度分)に関する実地監査を受けた(11/8)。受託事業の予算執行に関わる諸書類の整備などの指摘を受けて、業務内容の改善・見直しを進めた。

今年度も、引き続き超低金利による利息収入の不足や賛助会費や寄付金の伸び悩みにより、厳しい財務運営が続いたが、事業予算の確保と効率的な執行に努め、赤字額(運用財産の持出し額)を700万円台に抑えることができた。

賛助会員

賛助会員数は大きな増減なく推移している。制度発足当初からみると、1割以上減少した。夏・冬にはボーナスカンパを賛助会員に呼びかけており、財団への寄付金のほとんどは賛助会員からの寄付に限られている。

事務局・ボランティア

公害被害者資料の整理作業要員として林美帆さんを雇用(アルバイト)した。昨年度に引き続き(財)大学コンソーシアム京都「NPO・SCHOOL」からのインターン生・村上陽子さんを受け入れ、99年度春スタートの「ふくの庭」事業に従事してもらった。インターン受け入れに係る人件費について、(社)関西ニュービジネス協議会(通産省所管)の助成を受けた。

また、G8環境大臣会合に向けたNGO共同行動を推進するために、川本裕子さんにボランティアとして週2日、活動してもらった。「ふくの庭」活動などに多数のボランティアが参加した。

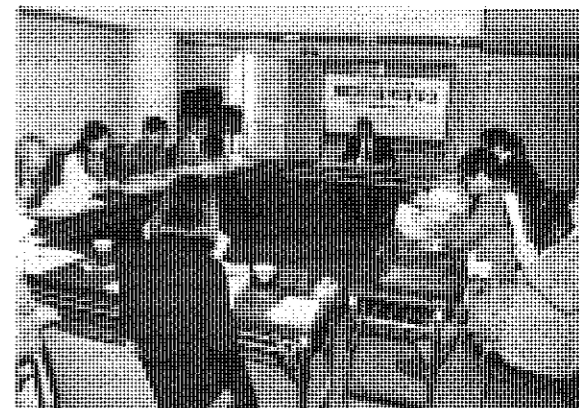
理事会

●第9回通常理事会(99年6月21日/グリーンルーム)

1998年度事業報告書と1998年度決算報告書を承認、財政計画に基づく事業の推進をはかるとともに、三村理事を担当者とするマスタープラン策定にむけた活動の推進を決定した。

●第10回通常理事会(2000年2月28日/オカモトヤビル)

2000年度事業計画と予算を決定。西淀川地域の環境再生にむけたあおぞら財団の提案(第1次)＝マスタープランを改称＝をもとに地域への働きかけを本格化することを決めた。



評議員会

●第4回評議員会(1999年6月11日/グリーンルーム)

1998年度事業報告書と決算報告書を承認するとともに、地域での活動の重要性が指摘された。

●第5回評議員会

2000年度事業計画と予算を承認。「提案」の具体化で意見交換した。

活動日誌

1999年

4月

- 1日(木) ・職員懇親会
- 3日(土) ・「ふくの庭」コミュニティガーデンをつくる会第1回例会
- 6日(火) ・リベラ編集会議
- 7日(水) ・事務局会議
- 8日(木) ・主任会議
- 9日(金) ・NPOスクールシンポジウム(参加)
- 11日(日) ・タンポポ分布調査
- 12日(月) ・豊能郡ダイオキシン公害調停をすすめる会来所
・西淀川公害裁判記録集会議
・公害問題資料研究会準備会
- 14日(水) ・事務局会議
・西淀川道路環境対策検討会
- 19日(月) ・主任会議
- 20日(火) ・リベラ発送
- 21日(水) ・事務局会議
・中之島まつり実行委員会(参加)
- 25日(日) ・タンポポ分布調査
- 27日(火) ・西淀自然文化大学開校式
- 28日(水) ・事務局会議
- 29日(木) ・建設政策研究所第1回オープン講座(講師：傘木)

5月

- 1日(土) ・「ふくの庭」コミュニティガーデンをつくる会第2回例会
- 3日(火) ・中之島まつり出展(～5日)
- 6日(木) ・主任会議
- 8日(土) ・西淀川こどもエコクラブ矢倉海岸定期調査
- 10日(月) ・事務局会議
- 11日(火) ・西淀自然文化大学

・西淀川公害患者と家族の会・転地療養(～12日、参加)

- 13日(木) ・総合環境学習ゾーン・モデル事業第2回ワークショップ(～14日、参加)
- 14日(金) ・公害地域再生活動交流会
- 18日(火) ・平成10年度瀬戸内海環境保全・創造計画検討委員会(委員：傘木)
- 19日(水) ・事務局会議
- 20日(木) ・監査
- 21日(金) ・国際バラとガーデニングショウ出品(～24日)
・リベラ発送
・西淀川道路環境対策検討会
- 24日(月) ・桃山学院大学芝村ゼミ西淀川視察受入
- 25日(火) ・西淀自然文化大学
・西淀川区連合町会長会議(報告：傘木)
- 26日(水) ・事務局会議
- 27日(木) ・総合環境学習ゾーン・モデル事業第3回ワークショップ(～28日、参加)
- 28日(金) ・世界銀行奨学金プログラム留学生西淀川視察受入
- 29日(土) ・日本造園学会(～30日、発表：傘木)

6月

- 2日(水) ・事務局会議
・公害補償制度学習会
- 3日(木) ・主任会議
・全国公害被害者総行動結団式(参加)
- 5日(土) ・「ふくの庭」コミュニティガーデンをつくる会第3回例会
- 7日(月) ・第24回全国公害被害者総行動デー(～8日、参加)
- 8日(火) ・西淀自然文化大学
- 9日(水) ・事務局会議
- 10日(木) ・主任会議
- 11日(金) ・第4回評議員会
- 12日(土) ・水島公害問題資料の現況調査

- 16日(水) ・事務局会議
- 17日(木) ・主任会議
- 18日(金) ・尼崎公害裁判解決祝賀会(参加)
- 19日(土) ・水島八間川調査隊(参加)
- 20日(日) ・気候ネットワーク運営委員会(委員：上田)
- 21日(月) ・第9回通常理事会
- 22日(火) ・職員健康診断
・西淀自然文化大学
- 23日(水) ・リベラ発送
・立命館大学宮本憲一ゼミで講義(講師：傘木)
- 24日(木) ・地球環境市民大学国際協力講座(岡山)実行委員会(委員：傘木)
- 25日(金) ・事務局会議
・西淀川道路環境対策検討会
- 26日(土) ・社会教育学会で発表(傘木)
- 28日(月) ・公害問題資料保存研究会第1回
- 29日(火) ・職員健康診断

7月

- 2日(金) ・主任会議
- 3日(土) ・「ふくの庭」コミュニティガーデンをつくる会例会
- 7日(水) ・事務局会議
- 8日(木) ・年報会議
・主任会議
- 9日(金) ・大気環境学会近畿支部PM2.5シンポジウム(参加)
- 13日(火) ・西淀自然文化大学
- 21日(水) ・事務局会議
・主任会議
・企画発表市に出展(～22日)
- 23日(金) ・第2名神高速道路問題学習会(講師：傘木)
- 24日(土) ・西淀川区主催「大野川緑陰道路名札かけ・自然とのふれあい」(協力)

- 26日(月) ・川崎公害裁判全面解決祝賀集会(参加)
- 27日(火) ・西淀自然文化大学
- 28日(水) ・事務局会議
・公害問題資料保存研究会第2回
- 30日(金) ・立命館大学宮本憲一ゼミで講義(講師：傘木)

8月

- 2日(月) ・リベラ発送
- 3日(火) ・第3回西淀川地区道路沿道環境に関する連絡会(委員：森脇)
- 3日(火) ・淀川花火鑑賞会
- 4日(水) ・事務局会議
- 5日(木) ・地球環境市民大学国際協力講座(岡山)実行委員会(委員：傘木)
- 6日(金) ・西淀川公害患者と家族の会事務所開き(参加)
- 7日(土) ・「ふくの庭」コミュニティガーデンをつくる会例会
- 8日(日) ・地球市民フェスティバルに出展
- 9日(月) ・西淀病院研修医視察受け入れ
- 10日(火) ・韓国NGO(グリーンクロス)と懇談
- 18日(水) ・事務局会議
- 19日(木) ・主任会議
- 24日(火) ・西淀自然文化大学
・西淀川道路環境対策検討会-英国視察事前勉強会
- 25日(水) ・事務局会議
- 26日(木) ・セミのぬけがら調査
・主任会議
- 27日(金) ・全国歴史資料保存機関連絡協議会視察受け入れ

9月

- 1日(水) ・事務局会議
- 2日(木) ・患者会園芸療法プログラムスタート(以後毎週木曜)

- 3日(金) ・西淀川道路環境対策検討会
- 4日(土) ・園芸を通して人と自然を考える会-福町編/第1回
- 5日(日) ・15年戦争研究会(報告:達協)
- 6日(月) ・フィリピン環境視察・交流(～14日)
・瀬戸内海環境保全・創造計画検討委員会(委員:傘木)
- 8日(水) ・神戸市シルバーカレッジ(講師:傘木)
・事務局会議
- 11日(土) ・あおぞら財団設立記念日バーベキュー
・西淀川子どもエコクラブ矢倉海岸定期調査
- 14日(火) ・西淀自然文化大学(講師:傘木)
- 15日(水) ・宮本憲一ゼミ受け入れ
- 16日(木) ・大阪弁護士会ヒアリング受け入れ
・環境庁大気保全局長阪神地域道路環境視察案内
- 17日(金) ・主任会議
・事務局会議
- 18日(土) ・矢倉海岸再生プランづくりワークショップ第1回
・日本建築学会大会(広島)都市計画部門研究協議会(参加)
- 19日(日) ・「尼崎ひと・まち・赤とんぼセンター」設立祝賀会(参加)
- 20日(月) ・公害問題資料研究会第3回
- 21日(火) ・総合環境学習ゾーン推進事業プログラム検討会(委員:片岡)
- 22日(水) ・リベラ放送
- 23日(木) ・英国道路環境対策視察調査(～30日)
・沖縄米軍基地公害・環境汚染調査(参加、～24日)
- 25日(金) ・西淀川区役所主催「大野川緑陰道路樹木名札かけ・自然とのふれあい」(協力)
・大阪にLRTを走らせる会(講師:傘木)
- 28日(火) ・西淀自然文化大学
・総合環境学習ゾーン推進事業ワーキ

- ・シググループ(委員:片岡)
- ・地球環境市民大学国際協力講座(岡山)実行委員会(委員:傘木)
- 29日(水) ・事務局会議

10月

- 2日(土) ・矢倉海岸再生プランづくりワークショップ第2回
・園芸を通して人と自然を考える会-福町編/第2回
・神戸製鋼火力発電所問題市民ネットワーク討論集会(報告:傘木)
- 3日(日) ・地方史研究協議会大会準備会(報告:片岡)
- 4日(月) ・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第1回
- 5日(火) ・西淀川公害患者と家族の会転地療養(参加、～6日)
・西淀自然文化大学
- 7日(水) ・事務局会議
- 8日(木) ・震災記録情報交流会(参加)
- 9日(土) ・ふくの実りを楽しむ会
・水島地球温暖化防止パイロット事業実行委員会(委員:傘木)
- 10日(日) ・大阪から公害をなくす会・資料調査
- 12日(火) ・中央環境審議会「環境基本計画」見直しに関する意見交換会(意見発表:傘木)
・第1回都市環境再生政策研究会
- 13日(水) ・上半期総括事務局会議
- 15日(木) ・柳本環境総括政務次官西淀川視察
・大阪市立大学講義「都市生活と健康」(講師:傘木、毎木曜日11/5まで)
- 17日(日) ・地方史研究協議会大会(報告:片岡)
・事務局会議
- 18日(月) ・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第2回
- 19日(火) ・西淀自然文化大学

- 20日(水) ・事務局会議
・リベラ放送
- 21日(木) ・国際協力事業団研修コースの受け入れ
- 22日(金) ・リベラ編集会議
・主任会議
- 23日(土) ・西淀どんぐりフェスタ
・西淀川公害患者と家族の会第28回総会(参加)
- 24日(日) ・道路公害反対大阪連絡会(講演:傘木)
- 25日(月) ・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第3回
- 26日(火) ・西淀自然文化大学修了式/樹木調査
- 27日(水) ・事務局会議
・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会第25回全国大会(参加、～29日)
- 28日(木) ・主任会議
- 30日(土) ・矢倉海岸再生プランづくりワークショップ第3回

11月

- 1日(月) ・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第4回
- 2日(火) ・事務局会議
・地球環境市民大学国際協力講座(岡山)実行委員会(委員:傘木)
- 4日(水) ・主任会議
- 6日(土) ・園芸を通して人と自然を考える会-福町編第3回
- 8日(月) ・環境庁実地監査
・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第5回
- 9日(火) ・NPOスクールスーパーバイザー交流会(参加)
- 10日(水) ・事務局会議
- 11日(木) ・尼崎公害患者・家族の会転地療養(参加、～12日)
・全国消費者大会環境分科会(講師:傘木)

- 13日(土) ・ふくの実りを楽しむ会
・西淀川子どもエコクラブ矢倉海岸定期調査
・総合環境学習ゾーン推進事業現地視察(参加)
- 15日(月) ・地球環境市民大学「環境NGOのための地球環境問題講座」第6回
- 17日(水) ・姫里小学校研究授業協力
- 18日(木) ・事務局会議
・環境庁環境計画課現地視察受入
- 20日(土) ・京阪神まちづくりフォーラム視察受入
・矢倉海岸再生プランづくりワークショップ第4回
・総合環境学習ゾーン推進事業現地視察(参加)
・尼崎都市・自治体問題研究所創設10周年行事(参加)
- 22日(月) ・リベラ放送
・公害問題資料研究会第3回
- 23日(火) ・尼崎公害患者・家族の会一日転地療養(参加)
- 24日(水) ・事務局会議
- 25日(木) ・NPOインターンシップ中間総括会議
・英国道路環境対策視察調査報告会
・総合環境学習ゾーン推進事業ワーキンググループ会議(委員:片岡)
- 26日(土) ・日本健康福祉政策学会(発表:傘木)
- 29日(月) ・総合環境学習ゾーン事業現地視察(参加)
- 30日(火) ・マスタープランアドバイザー委員会
・近畿通産局企画課現地視察受入
・センター赤トンボ(尼崎)事業検討会(参加)

12月

- 1日(水) ・事務局会議
・第1回環境まちづくりフォーラム/熊本県(報告:傘木、～2日)

- 3日(金) ・写真教室
・大阪弁護士連合会公害・環境委員会創立30周年記念シンポジウム(報告:傘木)
 - 4日(土) ・園芸を通して人と自然を考える会ー福町編第4回
 - 6日(月) ・リベラ編集会議
 - 8日(水) ・事務局会議
 - 9日(木) ・主任会議
・総合環境学習ゾーン推進事業プログラム検討会(委員:片岡)
 - 11日(土) ・三島パートナーシップ協議会設立発起人会(参加)
・気候ネットワークシンポジウム(参加、~12日)
・西淀川区主催「大野川緑陰道路樹木名札かけ・自然とのふれあい」(協力)
 - 13日(月) ・総合環境学習ゾーン推進事業現地視察及びワーキンググループ会議(参加)
・環境総括政務次官との懇談
 - 16日(木) ・事務局会議
・環境庁、第5次水質総量規制に係る意見交換会(意見発表:傘木)
 - 17日(金) ・第2回都市環境再生政策形成研究会
 - 20日(月) ・主任会議
 - 24日(金) ・事務局会議
・リベラ編集会議
 - 25日(土) ・総合環境学習ゾーン推進事業環境学習講座(委員:片岡、~26日)
 - 27日(月) ・リベラ発送
 - 29日(火) ・仕事納め、大掃除
- 2000年**
- 1月**
- 4日(火) ・仕事始め
 - 5日(水) ・事務局会議
 - 6日(木) ・主任会議
 - 7日(金) ・西淀川公害患者と家族の会新春初顔

- 8日(土) ・西淀川子どもエコクラブ矢倉海岸定期調査
 - 10日(日) ・熊本学園大学社会福祉学部関係者視察受入れ
 - 13日(木) ・主任会議
・総合環境学習ゾーン推進事業ワーキンググループ会議(委員:片岡)
 - 14日(金) ・事務局会議
 - 17日(月) ・身のまわりの環境マップ展示会開催(~29日)
・西淀川道路環境対策検討会
 - 19日(水) ・事務局会議
 - 20日(木) ・主任会議
 - 22日(土) ・公害・環境デー(参加)
・総合環境学習ゾーン推進事業環境学習講座(委員:片岡、~23日)
 - 24日(月) ・公害問題資料保存研究会第4回
・西淀川区小学校校長会で報告
・国土庁低未利用地有効活用促進調査検討会
 - 26日(水) ・総合環境学習ゾーン推進事業プログラム検討会(委員:片岡)
 - 27日(木) ・事務局会議
・主任会議
 - 28日(金) ・マスタープラン第2回アドバイザー委員会
 - 30日(日) ・尼崎公害訴訟判決前日集会(参加)
 - 31日(月) ・尼崎公害訴訟判決行動(参加)
- 2月**
- 1日(火) ・G8環境大臣会議にむけたNGOアピールプレス発表
 - 2日(水) ・総合環境学習ゾーン推進事業環境学習講座(委員:片岡)
 - 3日(木) ・事務局会議
 - 4日(金) ・公害問題資料の保存・整理等の事業

- 第1回専門委員会
 - ・第1回サステイナブル・コミュニティ研究会(委員:傘木)
 - ・JUCEE来所
 - 5日(土) ・園芸を通して人と自然を考える会ー福町編第5回
 - 8日(火) ・リベラ編集会議
・フィリピンの環境NGOスタッフの招聘(~15日)
 - 9日(水) ・事務局会議
 - 10日(木) ・主任会議
 - 11日(金) ・地球環境市民大学「環境NGOのための国際協力講座」(参加、岡山県、~12日)
 - 16日(水) ・事務局会議
 - 18日(金) ・西淀川道路環境対策検討会
 - 20日(日) ・総合環境学習ゾーン推進事業環境学習講座(委員:片岡)
・園芸療法研修会設立5周年を祝う集い(参加)
 - 21日(月) ・リベラ発送
 - 22日(火) ・主任会議
・西宮北口北東地区区画整理を考える会(講師:傘木)
 - 23日(水) ・事務局会議
・兵庫県瀬戸内海環境保全創造施策に関する阪神地域懇談会(意見発表:傘木)
 - 27日(日) ・サンテレビ「震災特集2000・復興とクルマ社会を考える」(出演:傘木)
 - 28日(月) ・第10回通常理事会
- 3月**
- 1日(水) ・事務局会議
・リベラ編集会議
 - 3日(金) ・公害問題資料保存研究会第5回
 - 4日(土) ・西淀川公害裁判「なの花」鑑賞会ーわらび座公演と報告のつどい

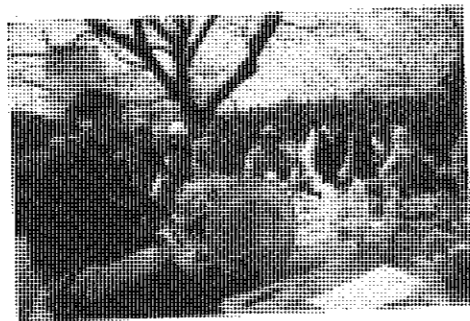
- ・園芸を通して人と自然を考える会ー福町編最終回
- 6日(月) ・西淀川区域に係る自動車排ガス対策研究会
- 8日(水) ・事務局会議
・環境アセスメントのための環境診断マップ作成マニュアル検討会
- 9日(木) ・主任会議
- 10日(金) ・園芸療法等を活用した環境保健事業に関する調査研究評価会議
- 11日(土) ・西淀川子どもエコクラブ矢倉海岸定期調査
- 12日(日) ・第5回評議員会
- 13日(月) ・リベラ編集会議
- 15日(水) ・事務局会議
- 16日(木) ・主任会議
・国土庁低未利用地有効活用促進調査検討会
- 17日(金) ・ソラダス実行委員会(委員:傘木)
- 18日(土) ・環境庁長官との懇談会(G8環境大臣会合に向けたNGO共同行動)
- 21日(火) ・西淀川道路環境対策検討会
- 22日(水) ・事務局会議
・リベラ発送
- 23日(木) ・主任会議
- 25日(土) ・西淀川区役所主催「大野川緑陰道路樹木名札かけ・自然とのふれあい」(協力)
- 27日(月) ・公害問題資料の保存・整理等の事業第2回専門委員会
・総合環境学習ゾーン推進事業ワーキンググループ(委員:片岡)
- 30日(水) ・全国公害弁護団連絡会議総会・シンポジウム(参加)
- 31日(木) ・第19回日本環境会議20周年記念シンポジウム(参加)

わたしのお気に入り



路上生活者に寝袋を送る活動をした仲間に花見に誘われ大阪城へ。チャランゴの演奏に聞き入った。澄んだ音色は海を越え、38度線まで超えたのかもしれない。50年目の握手に万歳。

(上田敏幸)



2

子どもマップ

身のまわりの環境マップコンクールには、子どもたちの力作が集まりました。大切にしたいのは、この目の高さと感性です。

第1回 身のまわりの環境マップコンクール

作品とコメントの紹介

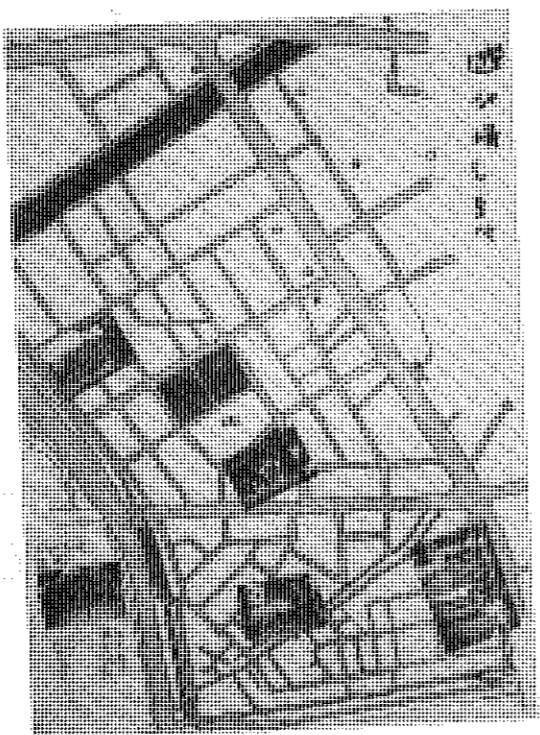
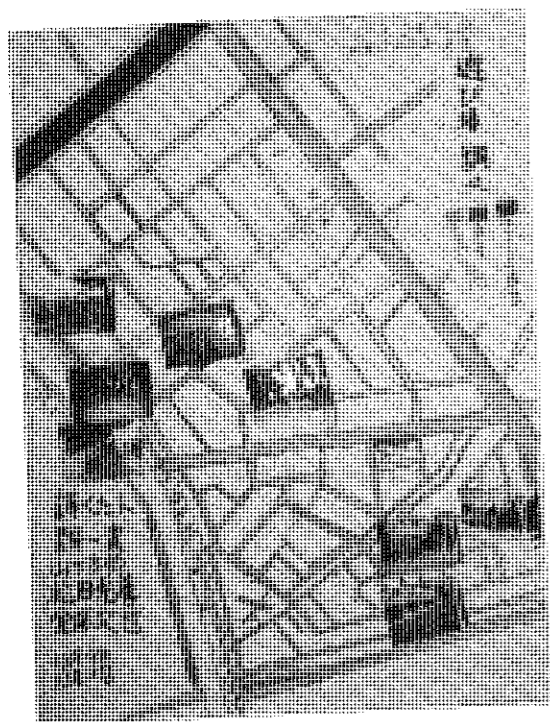
大阪市内の小学生を対象に99年9月から「身のまわりの環境マップ」を募集しました。全部で15点の作品がよせられました。

府立西淀川高等学校の地理の先生4名（須脇康次先生、谷和夫先生、上河原哲夫先生、松井克行先生）と川北小学校の板井能彦校長先生には、それぞれのマップにコメントを書いていただきました。

遊び場調べ(姫里小学校)

土のない道路の上も、交通量が少なければ遊び場になってしまうところが今と昔のちがいのなのでしょう。

写真で遊び場のようすがよくわかります。いい遊び場がありますね。



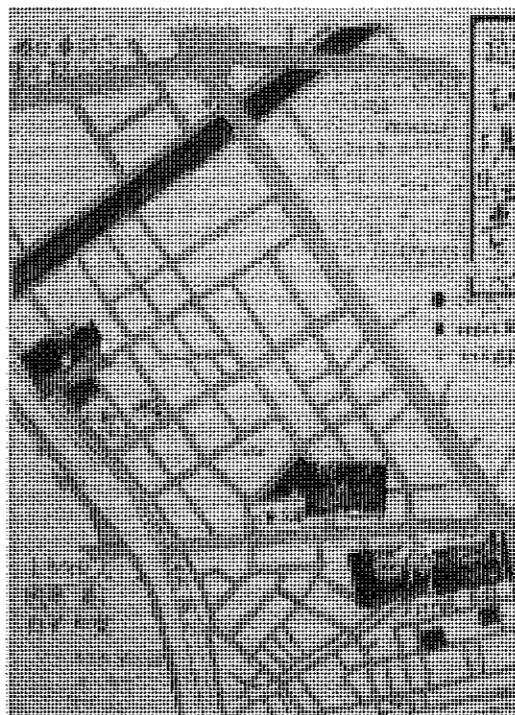
遊び場しらべ(姫里小学校)

遊び場のココがおすすめ！というポイントがあればいいのでは？

その場所の上に写真をはるのではなく、写真を外にはって、その場所に矢印でしめすと、場所がわかりやすくなると思います。

公園に「どんな遊具がある」とか「どんな遊びをしているか」というみかたで比べるのもおもしろいと思います。

写真があるので、遊び場のようすがよくわかります。

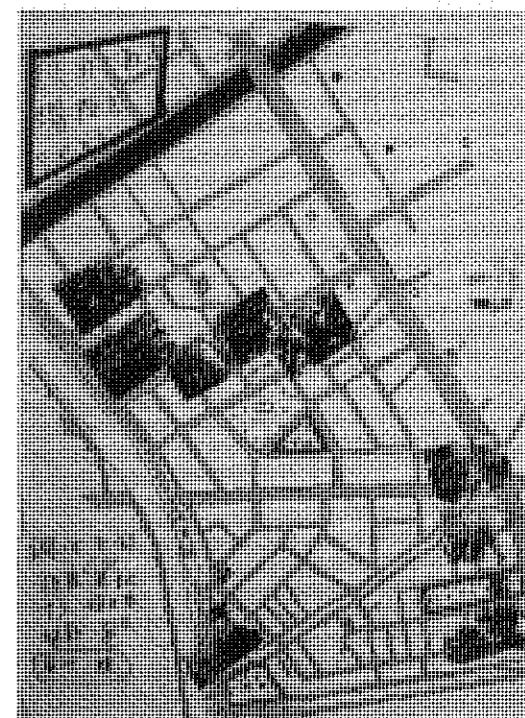


遊び場、駐車しらべ(姫里小学校)

「遊び場」だけではなく、「車しらべ」もしてみたところがグッドです。

「遊び場」にもっとほしいものはありませんか？

地図に矢印を入れたり、走る車をかくなどした方が、わかりやすいです。



緑のある場所をさがそう(姫里小学校)

学校や公園以外にも緑のあるところもいくつかあることがわかります。

季節によってことなる花が咲く町はすばらしい町ですネ。

どんな花が咲いているのか、写真でわかりますね！

注意ぶかく、気をくばって調べることができました。

自動販売機の数しらべ(姫里小学校)

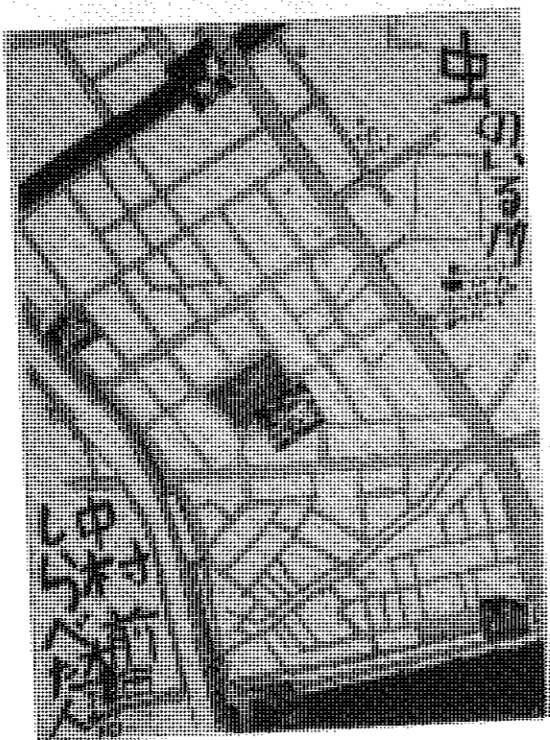
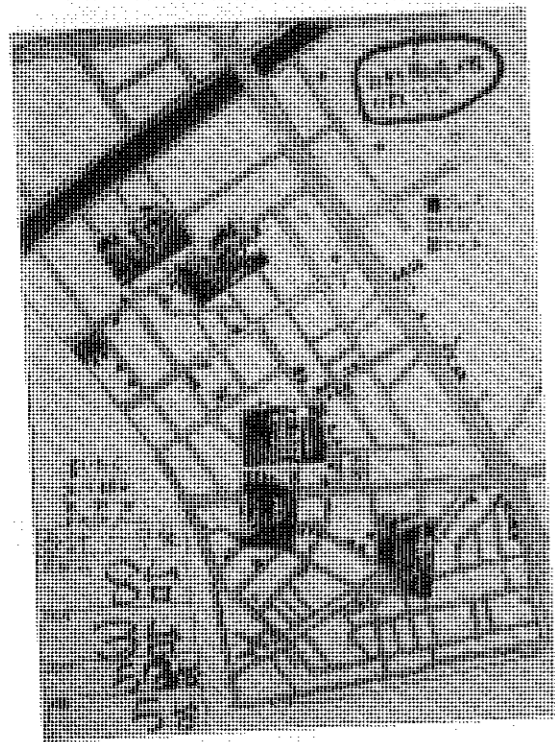
分類もきちんとできていて、よくわかる地図です。

とても細かく、よく調査しています。

道路のじゃまになっているものは、ありませんか？

全くないところと、いっぱいあるところがありますが、どうしてそのような差があるのでしょうか？

いろいろなものが売られているのがよくわかります。



虫のいるところ(姫里小学校)

川ぞいや学校、公園などに虫がいることがわかります。

虫の数についても調査、記録するともっとよかった！！

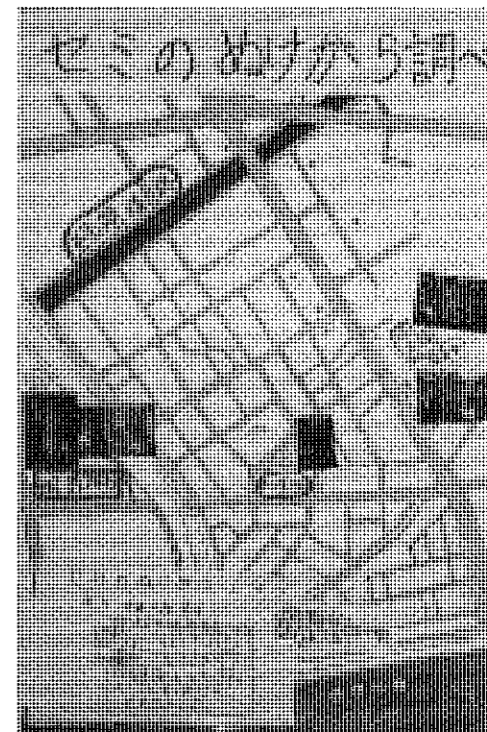
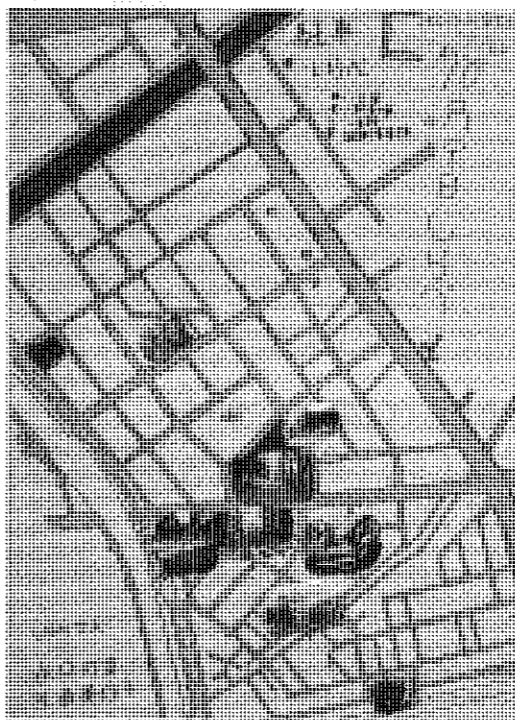
かぶと虫やくわがた虫がいるようになったらいいね。

駐車しらべ(姫里小学校)

まちの中のどのあたりに駐車が多いかよくわかります！ できれば、駐車場のあるところも記入すれば、路上駐車と比べられて、おもしろいと思います。

この駐車をしている場所は一方通行のところが多いのでしょうか？ あるいは、はばの広い道路が多いのでしょうか？ それとも、こかげのところが多いのでしょうか？

西淀川区には駐車してよい道路はありません。じゃまになりますね。



セミのぬけがら調べ(姫里小学校)

セミの「ぬけがら」調査を2日間にわたっておこなったので、両方のデータを比べられる点がおもしろいです。

作文から「秋なのに、セミのぬけがらがあつた！」というおどろきと喜びがよくわかります。

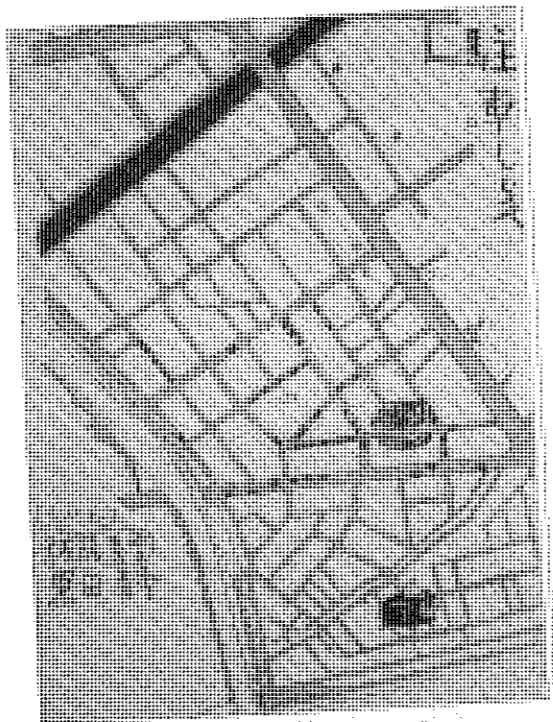
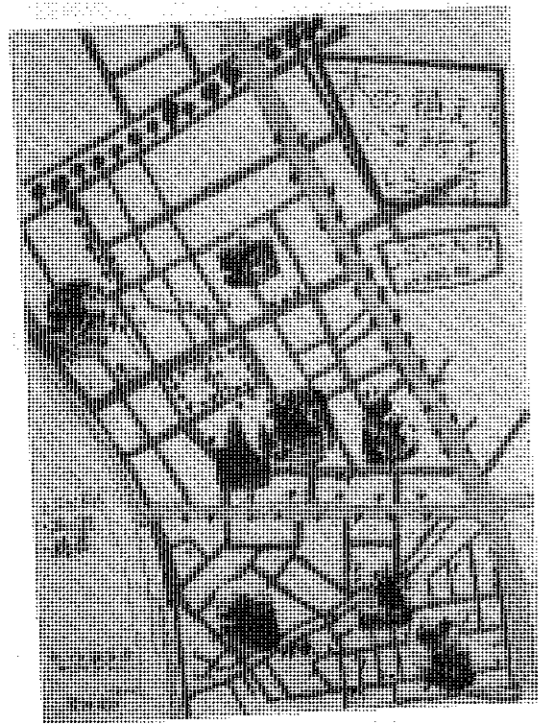
よくをいえば、神社のどの部分にどのセミのぬけがらがあつたかという「拡大図」があればもっとよくなったと思います。

まだまだ自然が公園や神社にのこっていることがよくわかります。

校区の外まで行って、調べて、たいへんでしたね。

木の植えている所をしらべる (姫里小学校)

木が子どもといっしょに写真にうつっていることで、木の大きさなどがよくわかります。公園などの地名が書いてあるともっとよかったです。



駐車しらべ(姫里小学校)

写真をうまく切って、工夫してはっている点はグッド。

ちょっと2カ所だけって、いうのがさびしいです。

なにか、文章による説明があれば、もっとよいのですが。

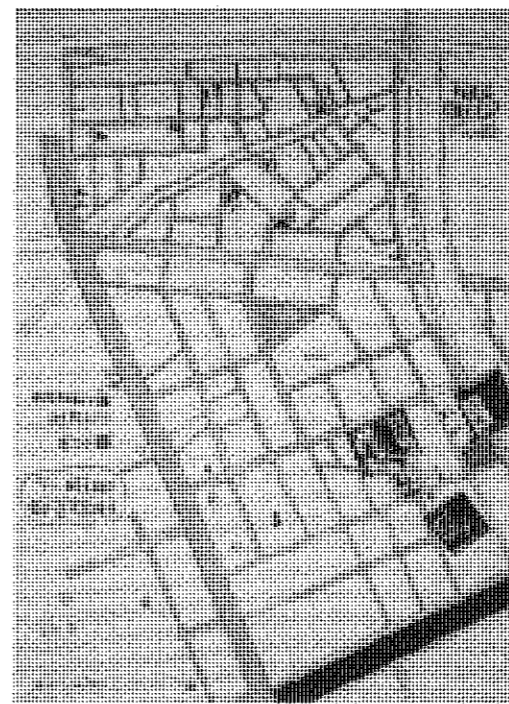
せまい道路にも駐車しているようすがよくわかります。■が駐車しているところと書けばよくわかります。

わたしたちの町 ポストの数しらべ (姫里小学校)

広いところをまわって、これだけで、つかれませんでしたか？

「何時何分」に集めに来るかも調べると、集めてまわるルートがわかりますよ。

このごろポストを見つけるのがたいへんです。いいものを調べてくれました。

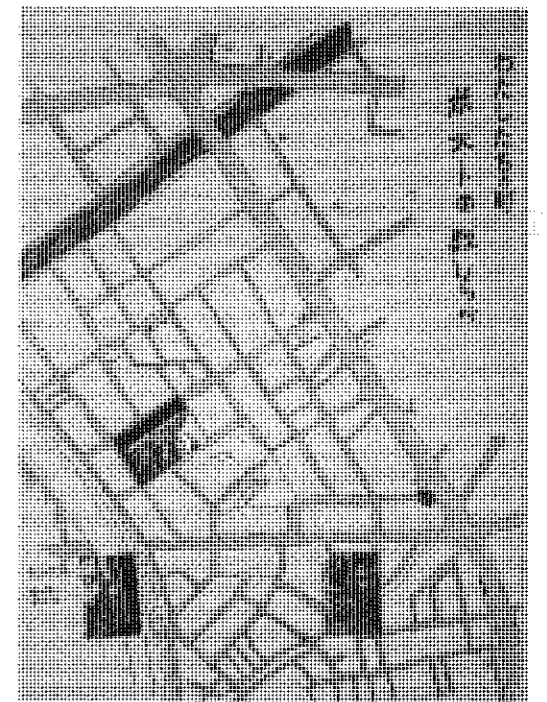


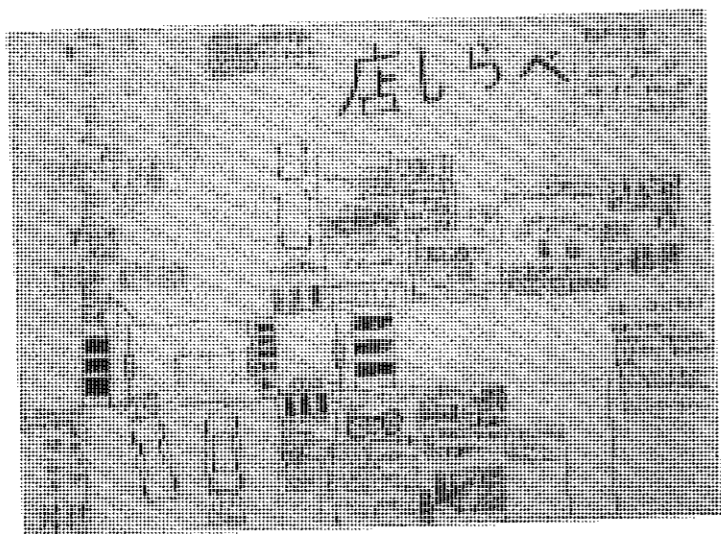
自動販売機の数調べた

(姫里小学校)

調べていった順路がよくわかります。(調べられなかったところも、よくわかります)

自動販売機で売っているものを書いてくれると、買いに行くときに役立ちますね。





店しらべ (佃南学童:ガンバリはん)

前もって「しつもん」を考え、その「答え」を調査 (インタビュー) して、きちんと地図にまとめている点がグッドです。

それぞれのお店のようすが、とても細かくわかりやすく書けています。

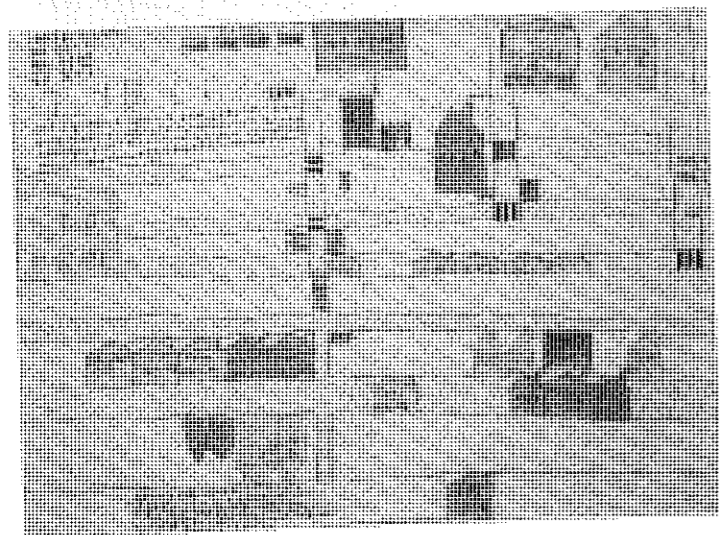
子どもの生活している街のようすがよくわかります。

チームワークで、よくできた「店しらべ」です。よくがんばりました。

工場しらべ (佃南学童:くだものはん)

「煙のでる工場」「煙のでない工場」という点に注目し、じっさいに歩いて調査し、わかりやすく色分けであらわしているところがグッドです!!

みんなで力をあわせないとできない「工場しらべ」です。一人一人がよくがんばったと思います。



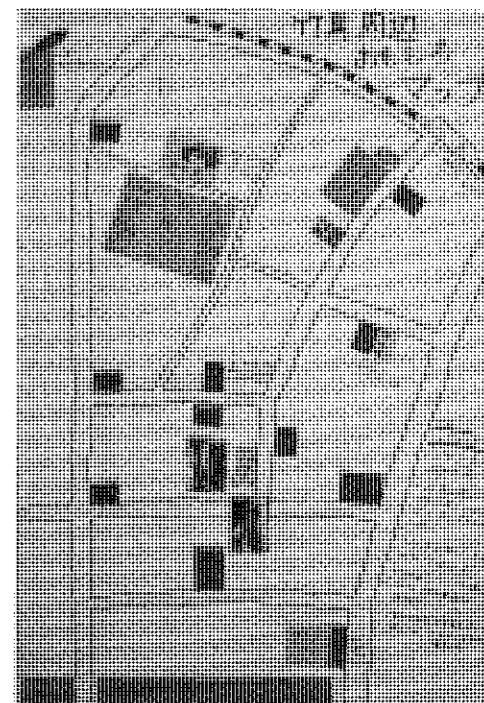
竹島周辺おもしろマップ (かみの学童)

まとめるのが、たいへんだったのがよくわかる地図です。

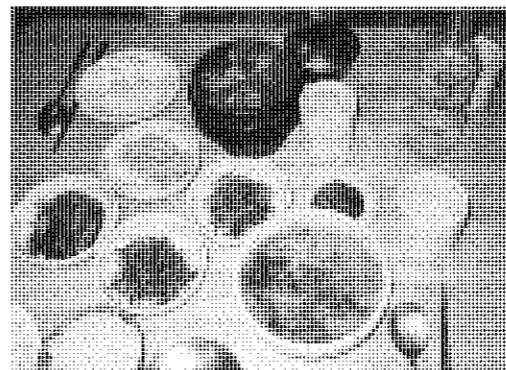
もう少し「絵」であらわしてみても?

まちの生活のようすがよくできています。畑の作物はよく調べたと思います。

畑でいろいろな作物をつくっているの、おどろきました。



わたしのお気に入り



ウニ!ウニ!ウニ!ウニイイイイイ!
こんなに入っててええのー!ああ、幸せ。
(济州島・韓国にて/1999年11月)

(鎗山善理子)

3

財政報告

厳しい財政が続いていますが、みなさまに支えられてここまでできました。ありがとうございます。

1999年度の財政状況 (1999年4月1日～2000年3月31日)

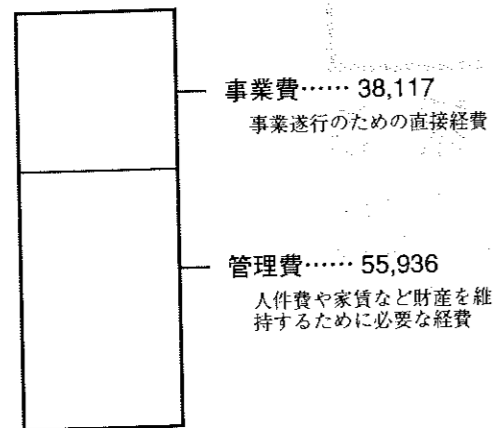
超低金利により、本来なら財団財政を支えるべき基本財産運用収入は、99年度は更に減少し98年度の4分に1となり、厳しい財団運営を迫られています。この状況下において、財政計画策定委員会より提起された、99年度は運用財産の取り崩しを600万から700万台

少なくとも100万円を切るところに抑えるという目標を持って、この1年取り組んできました。その結果99年度決算は、運用財産の取り崩しを770万とし、なんとか目標を達成することができました。

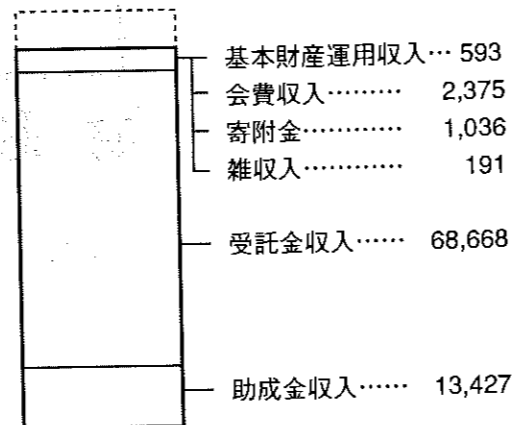
●収入・支出の状況

(単位：千円)

支出 合計 94,053



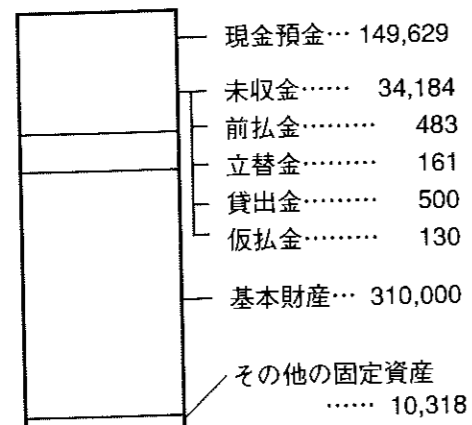
収入 合計 86,290



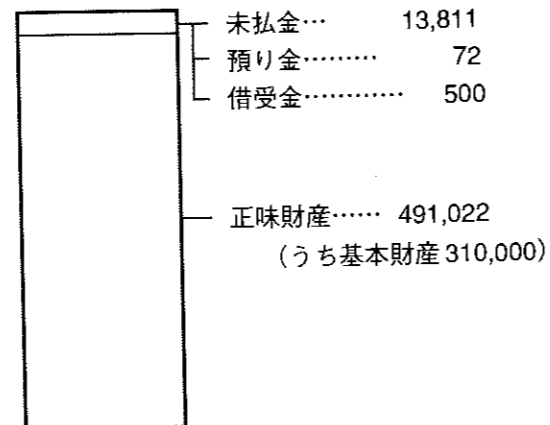
●貸借対照表

(単位：千円)

資産 合計 505,405



負債・正味財産 合計 505,405



寄付・寄贈者

青木玲
アグネス・チャン
足立義明
尾崎公害患者・家族の会
尾崎都市・自治体問題研究所
勤あまがさき未来協会
(有)あゆみコーポレーション
泉邦彦
板倉美作子
伊藤章夫
伊藤卓次
岩田健
岩壺祐里
上園昌武
植田和弘
上田幹枝
歌川学
遠藤宏一
大阪市立姫里小学校
逢坂隆子
大阪にLRTを走らせる会
大阪歴教協堺支部
太田周作
岡林一夫
小田康徳
甲斐道太郎
加國徹
笠井俊彦
傘木隆介
梶浦恒男
柏原純夫
加藤満生
かわさき環境プロジェクト21 (KEP21)
川崎公害裁判原告団
川崎公害病友の会
神吉紀世子
環境教育情報センター
関西共同印刷労組
勤関西情報センター
(有)関西ニュービジネス協議会
菅由美子
北元敏夫

記録誌作成会
木原勝彬
木村紀美代
木村邦男
木村保男
沓脱タケ子
小池哲夫
公害・地球環境問題懇談会
河野通博
後藤慶次
小山仁示
佐賀朝
酒井健一
坂本美き子
佐野章二
澤井余志郎
GU企画
重岡伸泰
自治体問題研究所
実盛理
柴田徳衛
柴田昌美
芝村篤樹
清水滯
(株)ジョイックス
庄谷邦幸
進士五十八
信州大学医学部公衆衛生学教室
直田春夫
鈴木幸代
瀬戸内の環境を守る連絡会
芹沢芳郎
全国公害患者の会連合会
第5回水俣病事件研究会事務局
高橋理喜男
卓吉子
竹内清子
高橋隆雄
樽野美千代
(株)地域調査計画研究所
津下佳世
津留崎直美

徳本文三郎
 豊能郡ダイオキシン公害調停をすすめる会
 中杉喜代司
 永野千代子
 にいがた自治体問題研究所
 新村保子
 西宮甲子園浜埋立公害訴訟原告団
 『甲子園浜を守る』編集委員会
 西淀川高校有志
 西淀自然文化協会
 日経ホーム出版社
 新田保次
 ㈱日本野鳥の会
 野村和夫
 野村瞭
 羽柴修
 長谷川弘直
 長谷川慧重
 林つや子
 林 曠子
 速水絃八郎
 原田喜一
 ㈱阪神・淡路大震災記念協会
 ピークラフト
 久田由起
 ㈱広島県環境保健協会
 弘本由香里
 フィリピン観光局
 福地保馬
 福富和夫

丸石園芸
 水島まちづくり財団(仮称)設立準備会
 水間満郎
 三瀬順三
 三宅直美
 三宅宏司
 都島医療生活協同組合
 宮崎悦子
 宮本憲一
 宮本三恵子
 宗田好史
 村杉幸子
 村田正夫
 村松昭夫
 柳本卓治
 山崎圭一
 山崎光信
 山本英夫
 湯浅精二
 横山澄男
 吉岡康裕
 吉田巖
 吉村良一
 四日市「公害市民塾」
 ㈱淀川製鋼所
 リック・デーヴィス
 ㈱リバーフロント整備センター
 和田幸子
 渡辺千賀恵

わたしのお気に入り

「ジャズ歌手・綾戸智絵」今、私のお気に入りの歌手です。最近まで名前も知らなかったのに、5月にコンサートに誘われ初めて聞いて、即ファンになってしまいました。低くハスキーな味のある歌が心を引くのはもちろん、いくつもの逆境を乗り越えてきた綾戸の「自分のやりたいこと、あきらめたらあかんよ」の楽しく元気なメッセージが、またいいのです。
 (大野みさ子)



4

インターンの目

インターンシップがもてはやされています。出会いはいつもドキドキワクワク

村上陽子さん（神戸市外国語大学4年生）は、99年6月から翌年1月まで、あおぞら財団でインターンとして活躍しました。

夏の暑い日も、冬の寒い日も、がんばり続けた村上さんのレポートを紹介します。

「ふくの庭」から始まる 公害経験からの地域再生

村上陽子

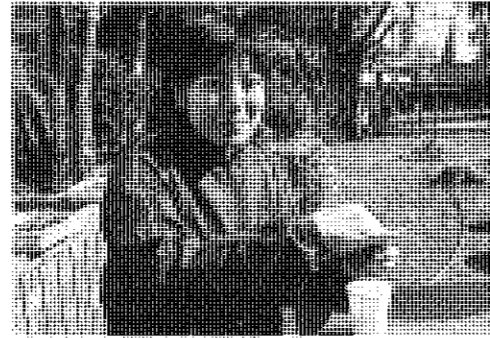
神戸市外国語大学外国語学部国際関係学科4年生

はじめに

あおぞら財団は、西淀川公害訴訟（註1）における被告企業との和解金の一部を基金にして、環境庁所管の公益法人として1996年9月に設立された。この団体は「公害地域再生センター」という名前が表すように公害によって疲弊した地域の再生を目的としている（註2）。

私がこのあおぞら財団に興味を持った理由は、以前に2度、水俣で水銀埋め立て地での植林と農協の祭りの手伝いのボランティアをした経験からだ。現在、メチル水銀で汚染された海は埋め立てられ、公園や水俣病資料館などが建てられているのだが、「昔、生命の宝庫だった場所に種から木を育て、もう一度生命を呼び戻そう」という水俣病患者さんの願いで「実生の森」が作られた。私はその森づくりに関わったのである。農協の祭りに関しても、今も続く「水俣＝公害、危ない」というイメージを払拭するために水俣ブランドの野菜を作り、それをアピールするための祭りであった。水俣でボランティアをしたり、水俣病患者さんや地元の人から直接お話を聞くことで、今まで学校で少ししか習わなかった日本の公害問題に関心を持つようになった。

このインターンシップ・プログラムに参加する時、インターン先に「公害地域からの再生」を図る団体があると知り、自分の住む同じ関西で起こった公害問題にも目を向け、何らかの関わりを持ちたいと思った。



「ふくの庭」とは

あおぞら財団で主に私が関わった事業は『公害患者によるコミュニティガーデン「ふくの庭」』である。これは園芸療法の活用によって公害病患者の健康・生きがいを地域再生活動のなかで取り組もうとするもので、西淀川地域の中でも最も公害がひどかったと言われる西淀川区福町の一角にある公園に1999年の4月に作られた（註3）。

私が初めてこの「ふくの庭」を知った時に想像したのは「公害患者さん達が自主的に集まって園芸作業をしている場所」であった。財団が目指しているのもこういう「コミュニティガーデン」である（註4）。しかし、実際「ふくの庭」でインターン活動をして、「ふくの庭」がまだ、そこまでいっていないことに気付いた。このファイナルレポートでは、私なりに考えた「ふくの庭」での問題点とこれからについて述べたい。

私は6月の終わりから1月まで、最初の頃は週3回、最後の方は週1回程というペースで「ふくの庭」に関わった。そこで私が行ったことは、夏の間は庭の手入れ（雑草を抜いたり、土を耕したり、種を植えたりなど）、9月から11月いっぱい週1回の「患者さん向けプログラム」の手伝い、それ以降はまた庭の手入れである。

私が約6か月間で感じたことは、この活動では「財団と地域」、「財団と患者会」、「患者会と地域」の関係を考慮しなければいけないということである。

財団と地域の関係

まず、「財団と地域」の関係であるが、あおぞら財団の目指すものがあまり地域に知られていないと感じた。これはNPOスクールで学んだ「アウトリーチ

（NPO団体が多くの人にその活動を知ってもらうこと）に関わることである。

私がこのように感じた理由は、いくつかある。福町で「ふくの庭」に協力して下さっている地元の方の「ここはよそからボランティアで人が来るが、地元の人には来ない」と言った言葉や、財団が地域の人に園芸で「ふくの庭」を利用してもらおうと工夫してもなかなかうまくいかない様子などからである。

そもそも「あおぞら財団」は西淀川地域の公害の歴史から生まれた団体であり、「ふくの庭」も公害の経験から生まれた事業である。しかし、前述の地元の方の一人が「公害なんて30年前のことやで」とおっしゃっていたように、公害の歴史に対して地域の人々が理解していないと「ふくの庭」が本来の役割を果たすのは難しい。

財団と患者会の関係

2つ目は「財団と患者会の関係」である（註5）。これは「ふくの庭」の核でもある。しかしここにも「患者会の方々にふくの庭の主旨を理解してもらう」という難題があった。9月から11月末までの3か月、毎週木曜日に患者さん向けのプログラムを行った。このプログラムは園芸活動により公害患者さんの健康回復・生きがいが事業として施策化されるために財団が環境庁から委託を受けて行われたものである。このプログラムの参加者については、財団が患者会の方々にお願いして来て頂く患者さんを探してもらった。この時、「なんで私が公園の草むしりをしなあかんねん」というような意識が、参加することになった患者さん達の中にあっただけである。そのためか、最初の顔合わせの頃は何か気まずい雰囲気であった。しかし、それは回を重ねるごとに緩和し、最終的にこのプログラムは、参加者にとって興味深いものになった。

私が、しかし疑問に思ったことは、患者さんと長年付き合ってきた財団の方が最初の段階で、参加者である患者さんに「協力してやってよ」という具合に頼み込んだことである。これは患者会の方々が何故財団が「ふくの庭」を事業化させたのか理解していない結果だと思った。今年の経験から、患者さんから「ふくの庭を利用したい」という声がかかることを願う。

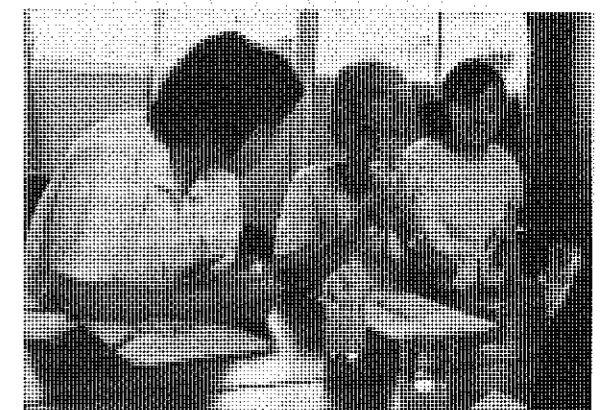
患者会と地域の関係

3つ目は「患者会と地域の関係」であるが、これは長年培われてきた地域の歴史が関わってくる。「財団と地域」の関係で述べたように、あまり被害に遭わなかった人や公害を経験しなかった世代の人達が「公害があった」事実や公害患者さんに理解を示さなければ「公害経験からの地域再生」は難しいと思う。

ここで、水俣でのボランティアの経験から、水俣と西淀川地域の共通点を挙げるとすれば、それは「公害の経験から地域再生へという気持ちが地元で浸透しにくい」ということである。水俣では公害患者さんの意志によって「実生の森」という場所が作られたのだが、「だんだんただの見栄えのいい公園にさせられようとしている」とそこで活動している人が言っていた。また、埋め立て地には行ったことはあっても「実生の森」の存在は知らない人も水俣市民のなかにはいる。公害患者の願いが地元の公害を知らない世代に伝わらない、「公害の経験から地域再生」の「公害の経験」が抜けた地域再生が水俣でも西淀川でも行われている（人々の意識がそうなっている）ところが共通点である。しかし、「公害の経験」を抜きにしては真の地域再生・活性化は有り得ないのではないかと私は思う。

さいごに

去年始まったばかりの「ふくの庭」が地元住民（公害患者も、そうでない人も含め）に浸透するのはこれからである。ここで私は、すでに「ふくの庭」がある一定の人達に効果をもたらしていることを挙げて



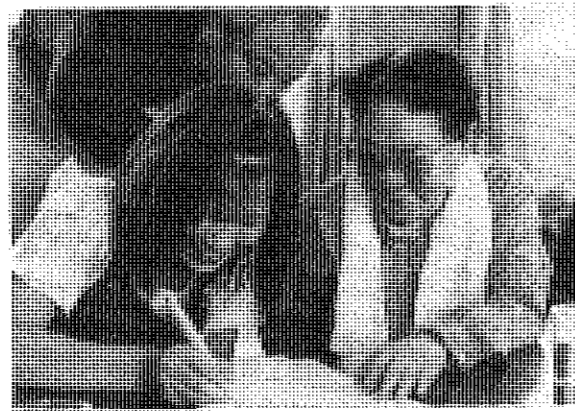
おこななければいけないだろう。患者さん向けのプログラムで1度だけ、ある参加者の自宅で行ったことがある。それ以来、その方はプログラムでない日も「ふくの庭」を何度か訪れたり、プログラムでやき芋を行った時にさつまいもを差し入れして下さったりした。これは「ふくの庭」を通じて、自分が社会に貢献できたというある種の「やりがい」を感じたからではないかと私は思っている。また、プログラムの1時間も前から「ふくの庭」にやってくる参加者もいて、これは「庭」がその人にとって「安らげる場」であることを示していると感じる。また、通りすがりのおじさんやおばさんが「大根が大きくなったねえ」とか「あれは何の花？」などと声を掛けてくるのに会うと、実はちゃんと見ているんだなあと思う。本当は「ふくの庭」という存在に関心があるのに、地域に何十年とある歴史や「あおぞら財団」に対する無知などが、「ふくの庭」事業の妨げになっている。この状態からの唯一の脱却法は、「ふくの庭」の継続によって「やりがい」や「安らぎ」を感じる人を増やしていき、地域から信頼を得ることである(註6)。

また、プランを立てる財団側と実際に庭で働く人やボランティアの意見交換は非常に大切であると考えられる。

この「ふくの庭」が徐々に地域住民の自発性により成り立っていくことで、あおぞら財団の目指す公害経験からの地域再生が可能になるに違いない。

註

1：高度経済成長期、大阪西淀川地区では、企業からのばい煙と道路からの排ガスによる都市型複合大気汚染で、多くの方が気管支ぜん息や慢性気管支炎などの病気にかかり苦しんだ。このため、健康被害に関する損害賠償と環境基準を超える汚染物質の排出差止めを求めて西淀川公害患者と家族の会が1970年に提訴したのが「第1次訴訟」である。1992年の「第4次訴訟」まで住民519人が原告となった。



2：財団の事業は大きく次の4つに分けることができる。

- 1：地域づくり部門
- 2：公害経験部門
- 3：環境学習・保健部門
- 4：広報・交流部門

3：財団の事業の中では「環境学習・保健部門」に位置付けられる。財団の1999(平成11)年度事業計画の年度目標に「『ふくの庭』活動を成功裏に立ち上げ、定着を図る」とあることや、週1回行われる財団の事務局会議で度々議題に挙がったり、財団の機関紙や紹介文などにも大きく取り上げられていることから、財団にとって核となる事業であることをうかがうことができる。

4：「福町には、たくさんの在宅公害病患者の方がおられます。そういった体の弱い人も子どもも大人も、すべての人達が楽しく集える、ほっとできる空間づくりをめざしています。」という「ふくの庭」ピラから、財団の理想とする「ふくの庭」像をうかがうことができる。

5：患者会(西淀川公害患者と家族の会)は公害患者の救済と団結を目的に発足され、註1の説明通り、西淀川訴訟を起こした。その訴訟の和解金の一部からあおぞら財団は作られた。両者は密な関係にあると言えよう。

6：また、「ふくの庭」の向かい側にある福小学校をもっと活用することも、具体的な方法の一つである。これには先生や保護者の同意を得るという難関があるが、授業で「ふくの庭」を利用してもらったり(花を育てたり、写生を行ったり、学校内の植物との比較など)、財団の別事業で「子ども環境マップコンクール」というのが去年あったが、福小学校の生徒に

参加を促すことで間接的に「あおぞら財団」を知ってもらうなどである。

参考文献

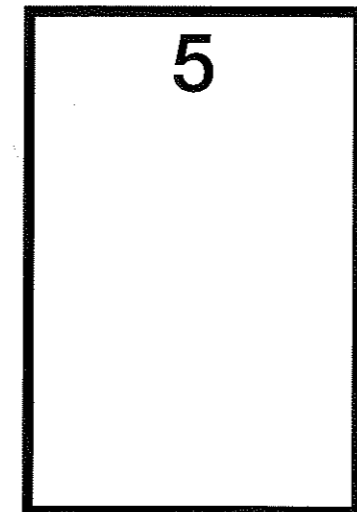
- ・あおぞら財団『あおぞら財団年次報告書Vol. 1 / 1996. 9 ~ 1997. 9』財団法人公害地域再生センター、1998年
- ・あおぞら財団『あおぞら財団年次報告書Vol. 2 / 1997. 10 ~ 1999. 3』財団法人公害地域再生センター、1999年
- ・あおぞら財団『大気汚染と公害被害者運動がわかる本』財団法人公害地域再生センター、1999年
- ・NPOスクール'98 ファイナルレポート集『もうひとつのキャリア・デザイン~NPO・NGOでインターンする』財団法人大学コンソーシアム京都、1999年
- ・山内直人『NPO入門』日経文庫、1999年
- ・あおぞら財団機関紙『Libella』、「ふくの庭」園芸プログラムの実施記録など



わたしのお気に入り

昨年11月にスイスから遊びにきた友達と、東京・月島で船にのり、レインボーブリッジを横目に見つつ、もんじゃ焼きをセルフメイクした時の写真です。初めてもんじゃ焼きを食べたのですが、材料の具を細かく碎き、だしの量を多くするのが基本みたいで、味よりもつくった大変さの方が、思い出に残っています。なんせ、形がくずれるくずれる!

(矢羽田薫)



使う・見る

財団にある資料や刊行物を紹介
します。資料室は会議や講座に
利用されるほか、小さな展示室に
もなります。

総合環境学習ゾーン・モデル事業の拠点施設です

総合環境学習ゾーン・モデル事業とは？

体験的な環境学習の輪を広げるため、1998年度から環境庁の事業として実施されています。自治体やNGOと協力して全国4つのモデル地域（日本海東北部、東海、京滋・阪神、瀬戸内海中央）の84の学習拠点に、それぞれの現場に応じた環境学習用の資器材が配布されています。各学習拠点の活動が連携して行われるように、インターネットを活用した情報ネットワークも整備されました。

あおぞら財団もこの拠点施設に指定されています。公害の経験に学び、それを教訓としながら、よりよい地域づくりをすすめるための公害病患者による“語り部活動”を中心にプログラムを用意しています。

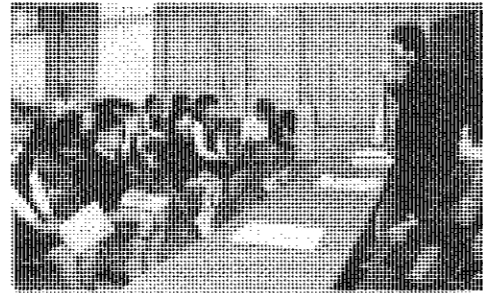
(1) 伝える学習—公害被害の経験から学ぶ—
公害病患者さんたちの経験から身近な生活を見直し、公害・環境問題について学ぶ学習活動です。

(2) 参加する学習
—西淀川フィールドミュージアム活動—
地域再生の場に参加することにより、体験的な学習活動がおこなえるプログラムを用意しています。

(3) 育てる学習—地域再生の担い手の育成—
これからのまちのあり方を考え、行動する人材の育成を日ざしています。

◆こんなプログラムを用意しています

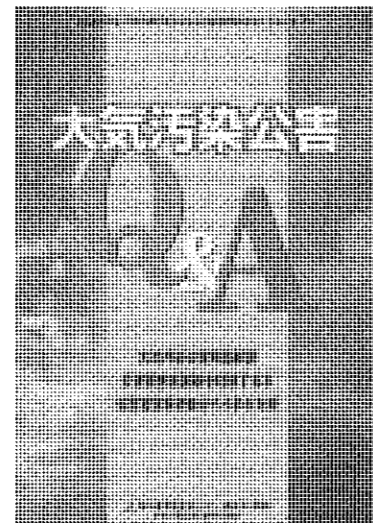
1、公害経験の交流・伝承活動—伝える学習—
公害患者の語り部活動



公害病患者さんの体験から来るのまちのあり方について考えます。

◆こんな教材を用意しています

- ・『公害患者からみた日本の公害経験』（英訳付）
1998年
- ・『大気汚染と公害被害者運動がわかる本』
1998年



2、調査活動—参加する学習—

- (1) コミュニティガーデンをつくる会
園芸療法の手法を取り入れたコミュニティーガーデンづくりをおこなっています。
場 所：ふくの庭（西淀川区福町）
定例会：毎月第1土曜日（午後1～4時）
活動日：毎週火・木と土曜日の午後1～3時
*初めて参加される方はご連絡ください。

- (2) 指標生物の継続調査
タンポポ（春）とセミの抜けがら調査（夏）をおこなっています。
*実施日など詳細はお問い合わせください。



- (3) 地域再生のこれからを考える環境診断マップづくり
「地域再生って何?」「何を再生するの?」普段、何気なく見過ごしている地域を改めて診断することで、これからの街について考えます。

- (4) まちづくりたんけん隊
地域再生の第一歩は、街を知ることから…知っているようで意外と知らない、あなたの住んでいる地域をたんけんしてみませんか。

- 3、講座・研修活動—育てる学習—
(1) 西淀自然文化大学
毎年4月～10月開講。連続14回。自然観察リーダーを養成しています。



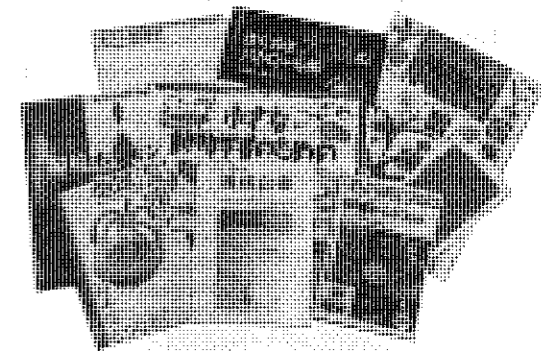
- (2) 地球環境市民大学
毎年秋～冬に開講。地球環境問題や環境NGO活動促進のための講座を実施しています。

- (3) 現地視察・研修の受入



4、資料室活動

- (1) 基礎文献・図書資料の閲覧・貸出
環境庁が選んだ環境学習に関する書籍100冊ほか、公害問題や地域づくりに関する資料・書籍が閲覧できます。ご希望の方には貸し出しもします。
総合環境学習ゾーン・モデル事業での全国84か所の拠点施設のホームページを見ることができます。



- (2) 各種機材、教材の利用
環境庁から配布された地球環境問題に関するパネル、スライドの他、あおぞら財団敷設の学習機材を利用することができます。
●利用できる機材
OHP、スライド、スクリーン、液晶プロジェクター、液晶ビジョン、パソコン、ハンドマイク、ビデオ、顕微鏡、
●利用できる教材
・地球環境問題に関するパネル（11種類）
・総合環境学習ゾーン・モデル事業「環境学習スライド50」（解説付）

(3) 展示活動

西淀川地域のことや環境問題に関する展示活動をおこなっています。

(4) 公害問題資料の保存・整理

公害問題や住民運動に関する資料を保存・整理しています。将来は、誰でも閲覧・利用ができるように、目録の作成もおこなっています。

【利用案内】

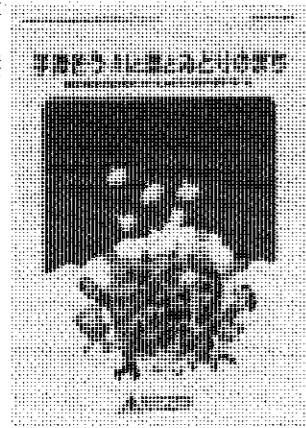
- *受付：月～金曜日 10：00～17：00
利用時間、日程などに関しては相談のります
- *料金：実費をいただきます
- *定員：原則として20名以内とします。
それ以上の場合は要相談。

あおぞら財団の関連刊行物

地域づくり調査活動

「手渡そう川と島とみどりのまち
—西淀川地域の環境再生にむけたあおぞら財団の提案(第1次)—」2000年3月
※平成11年度環境事業団地球環境基金助成事業

財団設立から約4年間、これまで西淀川地域の関係者をはじめ、多くの方々のご協力を得て、活動を進めてくることができました。



した。そのなかで、どのようなことを学び、まちづくりのあり方を考えてきたのかを紹介し、さらにご理解とご協力を得たいと考え、この冊子をまとめました。

地域のみなさんとともに進める活動の提案書です。全国でまちづくりを進める皆さんも、ぜひご一読ください。ご意見をいただければ幸いです。

宗田好史・北元敏夫・神吉紀世子・あおぞら財団編著
「都市に自然をとりもどす—市民参加ですすめる環境再生のまちづくり—」学芸出版社、2000年4月(2000円)

※トヨタ財団1997年度市民活動助成事業
自然に尋ね、人に聞く。

公害地域の再生をめざして西淀川で実践された市民による自然観察・環境診断と、人々の思いをさぐるヒアリング活動を紹介しています。あなたのまちでも始めてみませんか。

- 第1章 出かけよう
まちづくりたんけん隊のすすめ
- 第2章 見つけよう
みんなができる自然環境調査のすすめ
- 第3章 話してみよう
原風景を探るヒアリング調査のすすめ
- 第4章 地域再生のまちづくりにむけて
西淀川の活動からわかったこと

西淀川道路環境対策検討会

「西淀川道路環境再生プラン Part3」2000年3月
西淀川公害訴訟の和解条項に基づいて設置された「西淀川地区沿道環境に関する連絡会」における国(建設省)と阪神高速道路公団との政策協議を推進するための提案書です。西淀川公害患者と家族の会からの委託を受けたあおぞら財団が、専門家や地域関係者で設置する西淀川道路環境対策検討会の助言の下に作成しました。

平成11年度環境庁請負業務報告書
「西淀川地域における道路環境改善に関する調査事業報告書」2000年3月

平成11年度環境庁請負業務報告書
「住工混在地域における良好な大気生活環境の形成に関する調査」報告書、2000年3月

平成11年度環境庁請負業務
「つくってみよう身のまわりの環境診断マップ」
2000年3月

あおぞら財団1999年度助成研究・報告書
「西淀川地域におけるTDMへの住民と事業所意識に関する調査研究報告書」研究代表者 新田保次(大阪大学)、2000年3月

あおぞら財団1999年度助成研究・報告書
「大野川緑陰道路の経済的価値に関する調査研究報告書」研究代表者 新田保次(大阪大学)、2000年3月

公害経験記録・交流

平成11年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書
「1999年度 大気汚染対策に係る被害者・住民運動資料の保存・整理手法に関する調査研究報告書」2000年3月

1999(平成11)年度公害健康被害補償予防協会委託業務報告書付属資料
「西淀川公害訴訟関係弁護団・住民運動資料第1次目録(第2集)」2000年3月

西淀川公害患者と家族の会
「手渡したいのは青い空～西淀川公害裁判をたかかった原告の証言～」1999年10月

全国公害患者の会連合会
「フィリピンの環境NGOとの交流記録」2000年3月
※平成11年度環境事業団地球環境基金助成事業

環境学習・環境保健

平成11年度環境庁委託調査研究
「園芸療法を活用した環境保健事業に関する調査研究報告書」2000年3月

平成11年度環境庁請負業務報告書
「地球温暖化対策における都市緑化手法検討業務報告書」水島地域環境再生財団、2000年3月

活動交流・広報

「年次報告書 Vol.2 1997.10～1993.3」1999年7月

わたしのお気に入り



山田洋次作品が特に好きというわけではないし、「男はつらいよ」シリーズが全部好きでもないが、この作品は好きだ。片肺だがまだ元気な頃の渥美さんで、浅草軽演劇の動きができた。えげつない生母に邪険に扱われてなげき悲しみ、障子に持たれかかって庭にころげ落ちたり、「バカだなあ、寅は」というおいちゃんの本気でやりあっていた。絶妙な蝶々さん、もっともおいちゃんらしい森川信さん、わたしのお気に入り映画である。
(達脇明子)

「あおぞら財団」活動に関する資料

(1999.4~2000.3)

● 財団の活動に関する新聞報道資料

- 1999.04.14 朝日(朝刊) 西淀川のイメージ見直し 自然文化協会「大学開講」受講生募集
1999.06.10 神戸(朝刊) 温暖化防止へ徐々に浸透 キー必携作戦/自転車通勤の奨励
1999.06.19 毎日(朝刊) 公害病に“花の薬”園芸療法でリハビリ 西淀川土にふれ安らぎ
1999.07.07 読売(朝刊) 環境NGOのための地球環境問題講座
1999.07.07 産経(夕刊) 「地球環境問題講座」開講
1999.07.24 新潟日報 新潟水俣病 新たな闘い 教訓後世に5「最後の運動として思い切って」
1999.09.08 朝日(朝刊) ボランティア情報 あなたも参加しませんか コミュニティガーデンづくり
1999.09.09 毎日(朝刊) 撮りみんぐ 植物のパワー人に生かす 園芸療法の一環に触れる 西淀川の福町会館
1999.09.11 朝日(朝刊) 「明日への環境賞」創設 NGO各地で交流の場作り 市民・企業。行政の壁越え
1999.09.17 朝日(朝刊) ふれあい 矢倉海岸再生プランづくりワークショップ、環境NGOのための地球環境問題講座
1999.09.18 リビングおおさか まちかど news 矢倉海岸のこれからを考える
1999.09.18 日刊ゲンダイ 大人の勉強会 環境NGOのための地球環境問題講座
2000.01.25 朝日(夕刊) 大気汚染のない街患者の視点から 公害訴訟の原告住民ら再生プラン
2000.01.31 神戸(朝刊) 道路行政三たび断罪 車社会の転換迫る 健康、環境こそ公共性 NO2とSPM 総量規制急務に 政策の根本的見直し問う(傘木主任コメント)
2000.02.02 毎日(朝刊) 環境NGOが共同アピール 大津のG8会合に向け
朝日(朝刊) 環境大臣へアピール
日経(朝刊) 環境NGOG8で提言 各国へ「申し入れ書」
読売(朝刊 大阪版) 沖縄サミットで環境再生議論も 国内NGO要望へ
読売(朝刊 滋賀版) 4月のG8環境大臣会合 NGOと各国担当者懇談
京都(朝刊) 京滋のNGO 『先進国主導で再生を』来月アピール文送付へ
中日(朝刊) 環境サミットへ一丸 滋賀などのNGO5団体 大津開催で政策アピール
2000.02.02 朝日(夕刊) 窓 論説委員室から「公害資料館」
2000.02.04 THE DAILY YOMIURI National Briefs NGOs to ask G-8 to reflect their views
2000.03.05 朝日(朝刊、阪神版) 「公共性より健康優先」尼崎公害訴訟報告のついで 住民ら判決評価
2000.03.19 読売(朝刊) 環境浄化5項目要請G8大臣会合控えNGO、環境庁長官へ
2000.03.24 朝日(朝刊) 地域の自然守り育てよう 西淀川と熊取で来月から「自然大学」子供らの指導者に
2000.03.26 京都(朝刊) 地球の明日へ6 G8環境サミットを前に 再生の願い 足元の「まち」見つめ直す
2000.03.31 神戸(朝刊) 国道43号のSPM測定値 尼崎、昨年12月に基準値超
2000.03.31 読売(朝刊) NO2などの測定値を公表 地建 尼崎と西淀川
2000.03.31 朝日(朝刊、阪神版) 尼崎など大気測定近畿地建が初公表 測定機故障で参考値 公害訴訟原告ら不信感

● 財団の活動に関するテレビ報道

1999.07.31 関西テレビ「ふるさとZIP探偵団」(西淀自然文化大学の活動取材)

● 財団役員による財団の紹介(敬称略)

- 進士五十八 「あおぞらをわが手にコミュニティ・ガーデン市民共同の庭づくり」(社団法人花芸安達会 庭園講座⑥)
三村 浩史 1999.09.18 「環境管理と都市計画を結びつける地域づくりー公害地域再生センターの活動からー」『1999年度日本建築学会大会(中国)研究協議会資料 環境共生時代の都市・地域計画ー自治体空間計画における到達点と課題ー』(日本建築学会都市計画委員会)

● 理事長・職員の対外活動

理事長

◆報道

2000.02.23 毎日(夕刊) View 21 伝えたいこと 大気汚染 公害地域の再生に取り組む森脇君雄さん

傘木宏夫

◆外部依頼原稿

- 1999.05 「住工混在地域のオープンスペースにおける重金属の挙動について」(日本造園学会誌『ランドスケープ研究』vol.62 No.5)
1999.10 「待たれる経験の交流と政策形成のネットワーク」(『水土里の森』No.21)
1999.11.25 「地域再生へのこころみ」(京都自然史研究所『古都SANZEN』第85号)
1999.12 「市民による公害地域再生活動」(『環境情報科学』28巻4号)
2000.01 「英国(ロンドン)における沿道環境保全のための各主体の取り組み」(季刊『環境研究』No.116)

◆講演・学会等外部発表

- 1999.04.29 「都市環境再生の視点からみた公共事業のあり方」(『住民の視点からみた生活密着型公共事業とは何か』第1回オープン講座 建設政策研究所関西支所)
1999.05.30 「住工混在地域のオープンスペースにおける重金属の挙動について」(日本造園学会平成11年度全国大会)
1999.06.23 「市民による環境再生活動」(立命館大学政策科学部宮本ゼミ講義)
1999.06.26 「市民活動と学び」(日本社会教育学会・第23回関西研究集会)
1999.07.23 「道路公害と住民運動」(枚方第二名神をを考える第6回講演会)
1999.08.11 「自動車環境税制の導入に対する意見」(自動車環境税制研究会報告書に対する意見)
1999.08.27 「公害問題資料整理の取り組みと課題」(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第46回例会報告)
1999.09.08 「市民が進める環境アセスメント」(神戸市シルバーカレッジ)
1999.09.14 「自然環境を取り込んだまちづくり」(西淀自然文化大学)
1999.09.18 「市民による公害地域再生活動」『1999年度日本建築学会大会(中国)研究協議会資料 環境共生時代の都市・地域計画ー自治体空間計画における到達点と課題ー』(日本建築学会都市計画委員会)

1999. 09. 25 「クルマ依存社会からの脱却—あおぞら財団のLRT提言」(大阪にLRTを走らせる会・公開研究会)
1999. 10. 12 「環境基本計画への意見」(中央環境審議会企画政策部会ヒアリング)
1999. 10. 24 「21世紀のまちづくりと住民運動」(1999年度道路公害反対運動大阪交流会)
1999. 10. 29 「本山東地域の環境問題」(本山東後援会・環境問題学習会)
1999. 10. 15～11. 05 「都市生活と健康」(大阪市立大学生生活科学部講義全4回)
1999. 11. 10 「都市計画制度見直しへの意見」公害・地球環境問題懇談会(建設省都市局都市計画課)
1999. 11. 11 「環境保全のまちづくりを通して見えてきたもの—日本の環境政策への提言」(第38回全国消費者大会)
1999. 11. 27・28 「公害病患者によるコミュニティガーデンづくり」(日本健康福祉政策学会)
1999. 12. 03 「大阪弁護士会公害・環境委員会30周年シンポジウム」パネリスト
1999. 12. 16 「総量規制専門委員会中間報告を読んで」(第5次水質総量規制に係る意見交換会:瀬戸内海東部地域)
2000. 02. 22 「西宮北口北東の区画整理を考える会学習会」講師
2000. 02. 23 兵庫県瀬戸内海環境保全創造方策に関する意見交流会(意見発表)
2000. 03. 30 「あおぞら財団のこの一年」(第29回公害弁連総会シンポジウム資料)
2000. 03. 31 「「環境ホルモン」と私たちの暮らし」(印南町公民館環境問題講座資料)

◆ 報道・その他

2000. 01. 18 サステナブル・コミュニティ研究会(建設省近畿地方建設局)のコーディネーター委員として就任
2000. 02. 27 サンテレビ「震災特集2000・復興とクルマ社会を考える」出演

片岡法子

◆ 外部原稿

1999. 04 「大気汚染公害・住民運動資料の保存に関する研究会の記録」(『地方史研究』278号第49巻第2号)

◆ 外部発表

1999. 10. 17 「戦後・大阪西淀川地域における大気汚染問題と住民運動」(1999年度地方史研究協議会大会)
1999. 11. 27 「高等学校・地域間の連携による総合的な学習の創造—西淀川をフィールドとする環境学習計画」(日本環境教育学会第8回関西支部研究大会、松井克行、藤岡達也各氏との共同発表)

達脇明子

◆ 外部発表

1999. 08. 27 「公害問題資料整理の取り組みと課題」(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第46回例会報告)

三宅雅美

◆ 外部発表

1999. 09. 19 「大阪市西淀川区における工業用地の土地利用変化の傾向—都市型公害地域における環境改善課題に関する研究」(社団法人日本建築学会報告、神吉紀世子氏との共同発表)

わたしのお気に入り



親元を離れて働いている息子のクリスマスプレゼントはパソコンだった。一念発起、ウン十の手習いで格闘、最近ではメールも打てるデジタル人間なのだ。

(森脇君雄)